

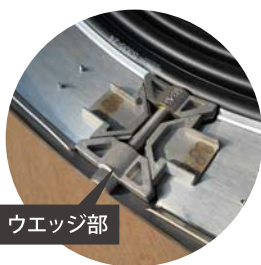
ブーツ 306 の特徴



— ウエッジ構造・幅広バンドの利点 —

- ステンレス製のウエッジ構造による「高い圧着力」で水密性を確保！
- 幅広バンドの使用によりマンホール穿孔面に「均等に圧着」し、水密性を確保！

ブーツ 306 の構造

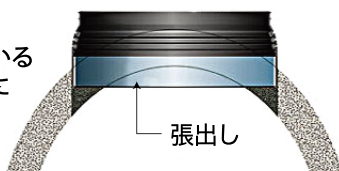


適用範囲

硬質塩化ビニル管	呼び径 450 ~ 800 mm
強化プラスチック複合管	呼び径 450 ~ 1000 mm
鉄筋コンクリート管	呼び径 400 ~ 900 mm

■ マンホール内への張出し

ブーツ306は、幅広バンドを使用していることにより、マンホール径・ブーツ品番によってはブーツの一部がマンホール内に10～67mm張出します。



◎流水に対する影響

通常、水はインバート範囲を流れるため、張出し部が流下の阻害になることはありません。

◎作業スペースに対する影響

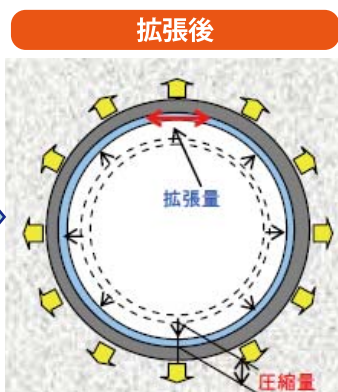
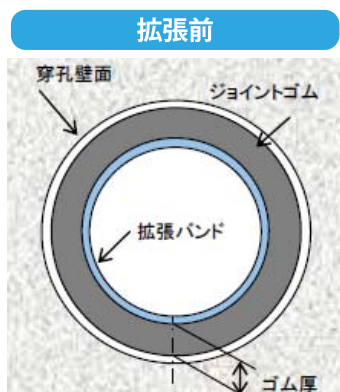
マンホール内への張出しは10～67mmであり、日常の維持管理等に必要なスペースに影響はありません。

ブーツ 306 の利点 ①

ウエッジ構造

◎ 拡張機構による「高い圧着力」。

ウエッジボルトを締め付けるだけで拡張ができます。



汎用工具による
ウエッジボルトの
締め付け



ウエッジボルトの締め付け

内部バンドが拡張

ゴムが圧縮

壁を押し力が発生

マンホール壁に圧着

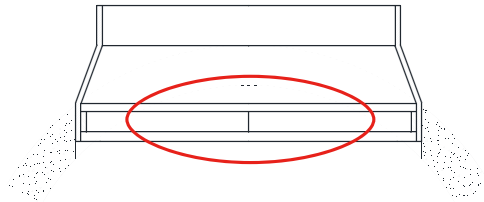
◎ 無段階で均一な締め付けによる「穿孔誤差対応力」！

ウエッジボルトを締め付ける構造であるので、無段階で連続的に拡張することができ、穿孔径に誤差がある場合も追従が可能となります。

ブーツ 306 の利点 ② 幅広バンド (構造面)

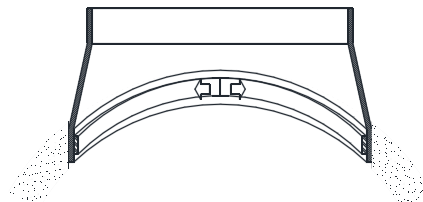
◎ マンホール穿孔面への「均等な圧着」が可能!

< バンド幅が狭い場合 >



バンドが穿孔面に掛からない箇所が生じる
バンドの掛かり代が少ない

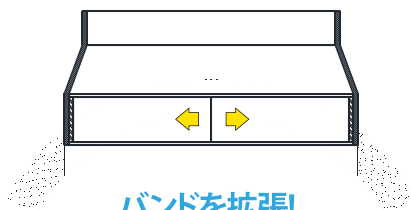
< バンドに曲率を設ける場合 >



バンドが曲線になっており穿孔面に
圧着させるために複雑な構造となる

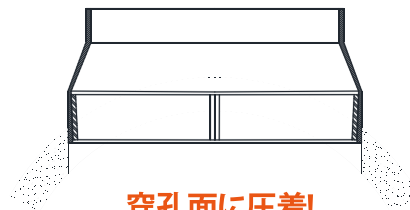
< 幅広バンドの場合 >

拡張前



バンドを拡張!

拡張後

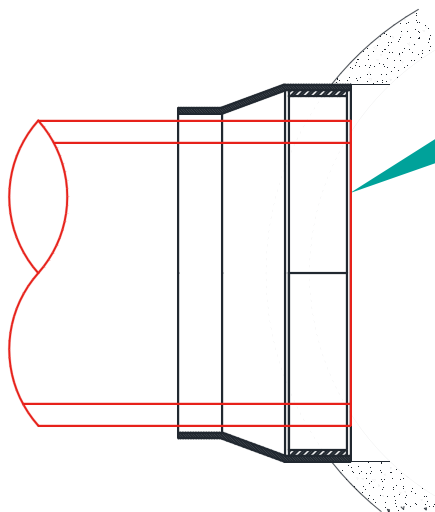


穿孔面に圧着!

バンドの一部が穿孔面に必ず掛かることになり、均等な圧着が可能となります!

ブーツ 306 の利点 ③ 幅広バンド (施工面)

◎ 張り出し部に合わせるだけで、「管口処理が簡単」にできる!



ブーツの端部まで管を挿入。
管口切断などの現場処理が最小限にできます!



※ 張出し部はモルタル仕上げを行います。